

評価の基準	
A	: 計画通りに進捗しており、おおむね順調である
B	: 現在、着手はしているがおおむね順調とまではいかない
C	: 進捗は半分程度
D	: 計画から大幅に遅れている
E	: 実施していない

基本目標	施策の方向	取組	概要	評価	ニーズ	施策の方向性
1 安心して子どもを産み育てるために	1 子育て支援サービスの提供	1 子育て支援事業の推進	一時預かり・病後児保育・ファミリーサポートセンターの実施	A	変化なし	継続
		2 利用者支援の推進（子育て相談）	相談窓口の周知やこども家庭センターの設置による情報提供、相談支援の実施	A	変化なし	継続
		3 経済的支援の推進	出産・子育て応援給付金事業の実施	A	変化なし	継続
		4 医療費助成事業の推進	18歳未満の者を対象に医療費助成による無償化を実施	A	変化なし	継続
		5 婚活支援（結婚応援）の推進	観光協会が実施した極寒BBQなど、人口減少対策としてサポートを行った	A	変化なし	継続
	2 教育・保育サービスの充実	1 安定した教育・保育サービスの提供	保育所等の定員確保を目的とした保育人材確保事業の実施	A	増加	拡大・強化
		2 特別保育事業の推進	延長保育事業や休日保育事業の実施	A	変化なし	継続
		3 経済的負担の軽減	保育料の軽減を実施	A	変化なし	継続
		4 認定こども園の推進	保育必要量と供給量のバランスを検証	A	変化なし	継続
	3 子育て支援ネットワークづくり	1 地域子育て支援拠点施設・子育て支援センターの充実	地域子育て支援拠点施設による保護者交流や子育てに関する情報提供を実施	A	変化なし	継続
		2 子育て支援に関する意識啓発の促進	ガイドブックや子育てアプリによる情報発信を実施した	A	変化なし	継続
		3 子育てネットワークの推進	地域子育て支援拠点施設による保護者交流や子育てに関する情報提供を実施	A	変化なし	継続
		4 地域療育体制の充実	障がい児等支援体制整備事業による発育相談を実施	A	変化なし	継続
	4 子育てと仕事の両立の推進	1 放課後児童クラブの充実	熱中症対策の環境改善と障がい児受入体制の確保を実施	A	変化なし	継続
		2 保育サービスの充実	幼稚園の預かり保育や、未就園児の一時預かり事業の実施	A	変化なし	継続

評価の基準	
A	: 計画通りに進捗しており、おおむね順調である
B	: 現在、着手はしているがおおむね順調とまではいえない
C	: 進捗は半分程度
D	: 計画から大幅に遅れている
E	: 実施していない

基本目標	施策の方向	取組	概要	評価	ニーズ	施策の方向性
2 妊娠・出産期からの親子の健康を保つために	1 子どもと母親の健康の確保	1 各種検診等の実施	妊産婦健康診査の費用助成や4カ月・10カ月・1歳8カ月・3歳1ヵ月児の乳幼児健診を実施	A	変化なし	継続
		2 相談・支援体制の充実	妊婦・新生児訪問や伴奏型相談支援を実施	A	変化なし	継続
		3 子どもと母の健康づくりの推進	母子保健推進委員会による、妊婦や育児中の母親を対象に体操教室を実施	B	変化なし	継続
	2 食育の推進	1 乳幼児期からの正しい食習慣、食生活の普及	両親学級や健診等において、栄養教室・栄養相談を実施	A	変化なし	継続
		2 学校・保育園等における食育の推進	関係機関の連携により収穫体験などを実施	A	変化なし	継続
		3 地域における食育の推進	学校、保育所等、生産者など関係機関が連携しライフステージに応じた食育を実施	A	変化なし	継続
	3 思春期保健対策の推進	1 思春期教育の推進	市内の小・中学校に対し、思春期教室を実施	A	変化なし	継続
		2 思春期保健におけるネットワークの推進	関係者等において課題検討会議の定期開催を実施。コロナ禍以降の開催頻度が減少した。	B	変化なし	継続
		3 思春期の相談体制づくりの推進	思春期のさまざまな悩みをもつ子どもやその保護者への支援を実施	B	変化なし	継続
3 子どもを健やかに育てるために	1 次代の親の育成に向けた教育の推進	1 年齢や世代を超えた交流の促進	保育施設における世代間交流事業に対し、補助金交付を実施	A	変化なし	継続
		2 思春期教室	妊婦体験や赤ちゃん人形の抱っこ体験等を実施	A	変化なし	継続
		3 もうすぐ親になる夫婦や妊婦に対する教育	両親学級や産前教室などの実施	A	変化なし	継続
	2 学校等における子どもの生きる力の育成	1 開かれた学校運営の推進	コミュニティスクール推進事業の展開により地域や関係機関と連携、防災講習や芸術文化鑑賞などを実施	A	変化なし	継続
		2 適応指導教室の推進	北斗市公民館に開設しており、不登校傾向の児童生徒に対し教育機会の確保に努めた	A	変化なし	継続
		3 小規模校による特色ある教育の推進	特認校制度を実施。不登校対策にも効果があった	A	変化なし	継続
		4 切れ目のない子どもの支援の推進	幼保・小連携による引継ぎカードの作成、合同研修などを実施	A	変化なし	継続

評価の基準	
A	: 計画通りに進捗しており、おおむね順調である
B	: 現在、着手はしているがおおむね順調とまではいえない
C	: 進捗は半分程度
D	: 計画から大幅に遅れている
E	: 実施していない

基本目標	施策の方向	取組	概要	評価	ニーズ	施策の方向性
		5 きめ細やかな指導の推進	補助教員の配置や学習支援員の配置による授業のサポートを実施	A	増加	継続
		6 国際理解の推進	外国語指導助手を4名配置し各小中学校への巡回による英語教育を実施	A	変化なし	継続
	3 家庭や地域における教育力の向上	1 保護者間が「連携する・学び合う・行動するPTA」の推進	学校評議員会や見守り活動など、家庭・地域が連携した取り組みを学校単位で実施	A	変化なし	継続
		2 子ども会や町内会育成部活動を通じての成長の推進	リーダー研修会やほっこれんまつり等の事業を実施	A	変化なし	継続
		3 読み聞かせによる親子の絆の醸成	各学区内において読み聞かせ事業を実施	A	変化なし	継続
	4 児童の健全育成の推進	1 スポーツ活動の推進	早朝日曜マラソンや市民スポーツの集いなどを実施	A	変化なし	継続
		2 文化、芸術活動の推進	市内のサークル団体などの協力により、子どもチャレンジ講座など実施	A	変化なし	継続
		3 地域における健全育成の推進	各小学校への要望調査を行い、地域の方が講師になり多様な講座を実施	A	変化なし	継続
		4 放課後児童クラブの充実（再掲）	熱中症対策の環境改善と障がい児受入体制の確保を実施	A	変化なし	継続
		5 子ども学習体験の充実	指定管理によるニュースポーツ体験や、音楽団体による楽器体験など実施	A	変化なし	継続
		6 情報モラル教育の充実	児童生徒がWebサイトを利用して行うコミュニケーション活動において、情報モラルに関する指導を実施	B	変化なし	継続
		7 指導活動の推進	北斗市青少年指導員など関係機関と連携し、巡回指導を実施	A	変化なし	継続
	4 安心して快適な生活を送るために	1 安全で良好な生活環境の整備	1 安全な通学路の確保	北斗市交通安全対策推進会議において、通学路の危険箇所を共有、対策に努めた	A	変化なし
2 安心して遊ぶ場所の充実			幼児向けの遊具公園を整備したが、老朽化した遊具の点検を実施したが更新の進捗が遅れた。	B	変化なし	継続
3 放課後児童クラブの充実（再掲）			熱中症対策の環境改善と障がい児受入体制の確保を実施	A	変化なし	継続
4 子ども学習体験の充実（再掲）			指定管理によるニュースポーツ体験や、音楽団体による楽器体験など実施	A	変化なし	継続

評価の基準	
A	: 計画通りに進捗しており、おおむね順調である
B	: 現在、着手はしているがおおむね順調とまではいかない
C	: 進捗は半分程度
D	: 計画から大幅に遅れている
E	: 実施していない

基本目標	施策の方向	取組	概要	評価	ニーズ	施策の方向性
	2 安心して外出できる環境の整備	1 交通安全対策の充実	市、警察、交通安全指導員会等が協力し、交通安全運動を実施	A	変化なし	継続
		2 防犯灯、街灯の整備	町内会等に対し、防犯灯、街灯の整備や電気料に対する補助事業を実施	A	変化なし	継続
		3 公共施設等のバリアフリー化の推進	主要公共施設における環境整備は十分に整備された状況となった	A	減少	完了
		4 子ども連れにやさしいトイレ等の整備の促進	総合文化センターの整備など実施。関心の高まりにより整備における気運は十分に醸成された	A	減少	完了
	3 安心・安全なまちづくりの推進	1 交通安全対策の推進	北斗市通学路交通安全対策推進会議を設置し、通学路交通安全対策プログラムを作成し、効果的な安全対策の向上に努めた	A	変化なし	継続
		2 防犯体制の強化	通学路における犯罪の抑止を目的に、公共施設屋外に防犯カメラの設置など実施した	A	変化なし	継続
5 支援を必要とする子どもや家庭のために	1 児童虐待防止対策の推進	1 早期発見による虐待の未然防止	母子保健係と連携し、全戸訪問事業や健診による早期発見、気軽な相談機会の提供を実施	A	増加	継続
		2 児童虐待防止対策の充実	要保護児童対策地域協議会による特定妊婦等を支えるネットワークの構築や、周知活動を実施	A	変化なし	継続
		3 児童虐待の早期発見に向けた地域の協力	要保護児童対策地域協議会による特定妊婦等を支えるネットワークの構築や、周知活動を実施	A	変化なし	継続
	2 ひとり親家庭等に対する自立支援の推進	1 母子又は父子家庭やDV被害者の相談・支援	母子・父子自立支援員と児童家庭相談員と連携しながら養育相談などによる自立支援を実施	A	変化なし	継続
		2 母子・父子家庭などへの経済的支援	児童扶養手当や遺児手当などの各種手当や医療助成を実施	A	変化なし	継続
		3 母子・父子家庭の自立支援	自立支援教育訓練給付金や高等職業訓練促進給付金などの給付を実施	A	変化なし	継続
	3 障がい児の健全な成長の促進	1 障がい児の健全育成の充実	保育施設・児童クラブにおける障がい児の受け入れ促進のため、補助金交付し推進に努めた	A	変化なし	継続
		2 障がい児の義務教育等の充実	特別支援が必要な児童生徒の相談を実施し教育環境の充実に努めた	A	変化なし	継続
		3 障がいの特性に配慮した教育の充実	児童生徒の特性に合わせたクラス編成を行い、医療機関と情報共有のうえ、支援方針への反映を実施	A	増加	継続
		4 発達障がい児支援の推進	母子保健事業との連携により相談機会の提供や情報提供の実施	A	変化なし	継続

評価の基準	
A	: 計画通りに進捗しており、おおむね順調である
B	: 現在、着手はしているがおおむね順調とまではいえない
C	: 進捗は半分程度
D	: 計画から大幅に遅れている
E	: 実施していない

基本目標	施策の方向	取組	概要	評価	ニーズ	施策の方向性
		5 障がい児療育の充実	健診結果による継続的な相談・助言を実施	A	変化なし	継続
		6 療育カルテの普及	利用者が極めて限定的であり、システム管理などにより代替されているため今後の普及は期待できない	D	減少	廃止
		7 経済的負担の軽減	障がい児福祉手当、特別児童扶養手当の給付や医療費の助成を実施	A	変化なし	継続
		8 障害のある子どもに対する保健指導	健診・電話連絡・家庭訪問などにより相談・助言を実施	A	変化なし	継続
6 子どもの権利を大切にするために		1 子どもの権利を大切に する意識の向上	社会参加に向けた主体的な取組を支援するため、適切な指導・支援に努めた	A	変化なし	継続
		2 子どもの意見表明・参加の促進	子ども議会を実施	A	変化なし	継続